

2020.6.30@農林水産省
第2回新しい農村政策の在り方に関する検討会

「人材育成」について



一般財団法人地域活性化センター
人材育成プロデューサー 前神 有里

さまざまな分野で「人材育成」が大事だと言われ、研修が行われたり、教材がつくられたり、手法の開発に関する研究がされています。

地域には様々な人が暮らしており、まちの未来をみんなで考える動きも生まれています。

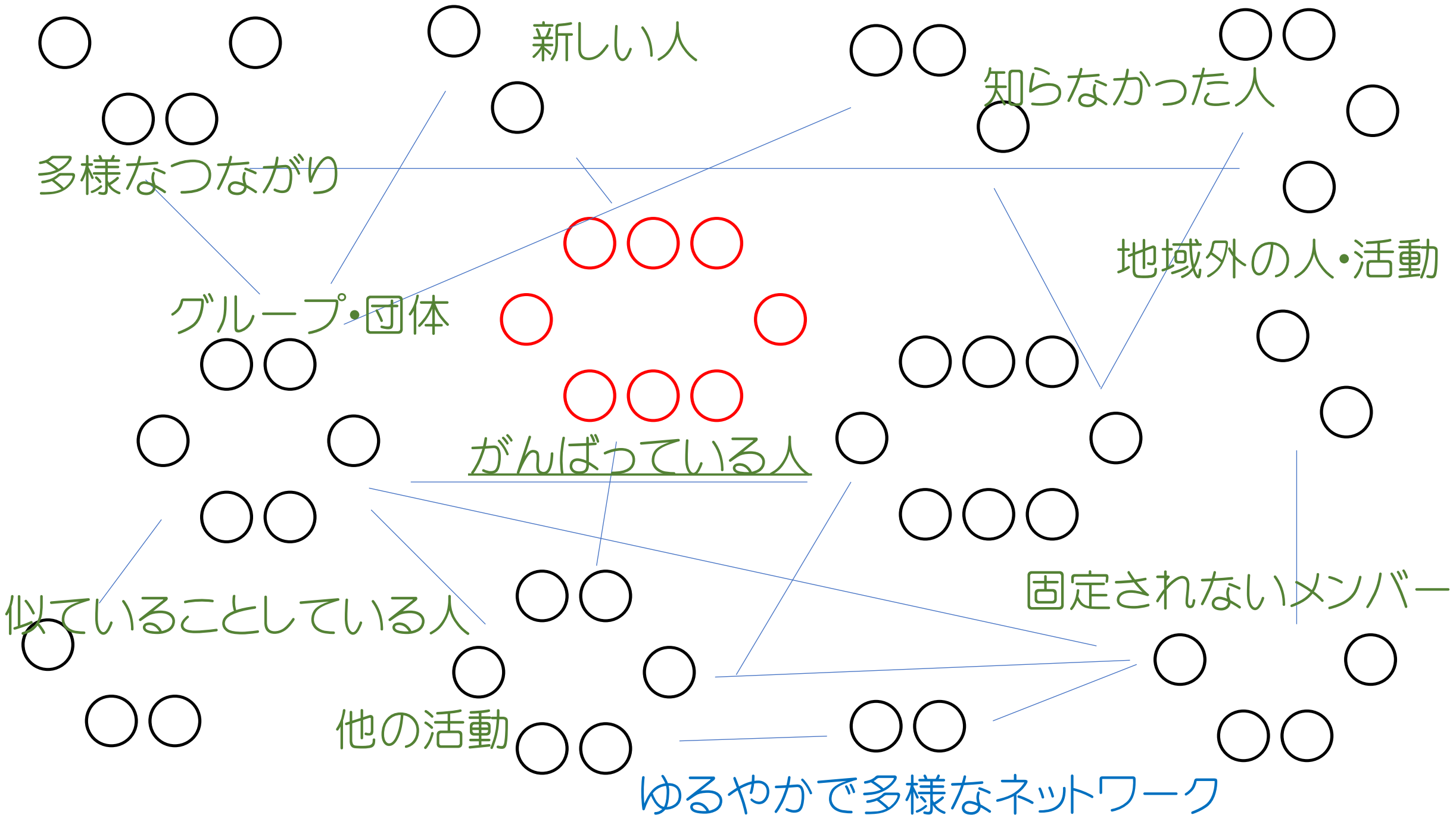
ワークショップを取り入れたり、地域づくりのプランナーが育っていたり、専門分野を持たない人も何か自分にできることを模索していたり、学生が地域の潤滑油になっていたたり、移住者やその地域に関わりを持つ関係人口となる人から新しい風が吹いたりしています。

また、分野横断のつながりの重要性も理解されてきました。

これからの地域づくりに大事なものは、関わる人が創発とイノベーションを起こしていくことではないでしょうか。

私は、人材育成の場においてに大事なことを次のように考えています。

地域には多様な人たちが活動していることを理解する



ネットワークの効用

ネットワークはつくるものではなく、自ら考え動こうとする人がつながっていくことで自生し、アメーバーのように自在に変形する。

立場によるアプローチの仕方の違い、経験や力量の差も役に立つ。

相乗効果や一石N鳥が生まれるネットワークになる。

ネットワークには人を育てる力がある。

ゆるやかなつながり (weak ties) が大事

地域のことを地域の人には意外と知らない、つながっていない。
自分とは違う世界・経験・情報・価値観とのゆるやかな出会い

⇒自分の可能性の発見

翻訳できる人がいるとつながりやすい

相談できる・報告したいと思う誰かがいることで頑張れる

関係が近すぎない方がいいこともある

立場を固定しないで、場面によって入れ替わる

3つのD (でも、だって、どうせ、、、) は希望を生まない

タタカワナイ、キソワナイ、キョウセイシナイ

課題解決思考から価値創造型思考へ

課題解決思考は問題を切り出し細分化してしまう

本来つながっていることを解体して別物にしてしまう

課題は人によって感じ方が違う。見つけた課題の解決を急ぐと表面的に進めてしまいがち。いろいろなことが許され包摂できる寛容さのあるゆるさ、まだ無いもの、言葉になっていないふわっとしたものを探索的にみんなで考え形にしていく可能性。本質的なことを確かめ、それに向き合う勇気がわいてくるゆるくてふわっとした時間が必要。

あいだをつなぐ人
(多様な網の目)

⇒

インターミディエーター

コーディネーターでもない
ファシリテーターでもない
異なる立場の人々を組み合わせる人材

新しい価値創造に必要な媒介者

学生
行政職員
働きに来る人
共感で訪れる人
帰ってくる人、
新しい関係でつながっていく人
(外部人材)

×

そこにくらす人たち (当事者)

多様な関係性の網の中に立ちあいだをつなぐ**インターミディエーター**の役割が必要

多分野連携や横断的取り組みは、他分野への関心がのりしろをつくる。人間は多様な関係の中で生きており、それを特定の分野だけで捉えると包括的な対応にならない

専門的な視点だけだと視野が狭くなりやすいので、分野を超えて交ざり合う工夫を

異質×異質が新しい価値を生む

多方向での関係づくり、開かれた対話の場、エンパシーが必要。

一緒に物語りを共有するコミュニティ

タテ・ヨコ・ナナメ・アイダをつなぐ**インターミディエーター**は組織の中でも重要

※参照 地域活性化センター未来構想と3つの物語り

誰にでも開かれている「場」が人を育てる

自分のタイミングで参加できるゆるやかさ
参加しやすくなる工夫と配慮を

危機感では人は動かない（不安でかたまります）
既成概念やこれまでの常識で判断しないこと
研修と小さな実践をセットにする

新鮮な気持ちで見る・変化を感じ取ることで未来を描いていく

Well Being

Performing
全体性から機能する
モデルを実装する



Prototyping
頭と心と手をつなげて
プロトタイプをつくる

Crystallizing
ビジョンを共有し
生み出したい未来を描く

Presencing
私のウェルビーイング
とは何か？
自分の源につながる

Sensing
場にいる人や
そこで起きている
ことを感じ取る

Seeing
新鮮な気持ちで
自分や他者のあり
のままを見る

Downloading
過去のパターンや
いつもの考え方を
保留する

これまでの常識で判断しない

新しいことを聞いたとき、いつもの常識であり得ないとかくだらないと判断してしまうと過去の延長の未来しか想像できない。いつも思考パターンを手放すことが大事です

出典：JST RISTEX HITE「日本的well beingを促進する情報技術のためのガイドラインの策定路普及」(CC:BY4.0)
URL:<http://wellbeing-technology.jp>